

## ( 公開学習 ) 第 3 学年 2 組 社会科学習指導案

授業者 川島 浩

3 年 2 組 教室

1 単元名 人びとのしごととわたしたちの暮らし ~ちくわ工場の仕事~

2 授業構成

### ( 1 ) 教師と教材

鳥取市は、都道府県庁所在地別「ちくわ」の消費金額が全国一である。日本一ちくわ好きな市民と言われている。また、鳥取の伝統を生かした豆腐を原料とする「とうふちくわ」が有名で、鳥取市内にもとうふちくわを生産する業者が複数あり、各工場で特色ある製品が製造されている。

本単元では、工場の学習に鳥取市の食卓になじみ深く、特産物ともなっているちくわ工場の仕事をとりあげる。工場の仕事に関する単元では、「わたしたちの地域では、人々が生産や販売に関する仕事をしていて、日々のわたしたちの生活を支えていることがわかる。」ことと、「身近な地域の生産活動や販売活動の実際について、観察・調査したり、表現したりすることを通して、仕事の特色や他地域との関わり、仕事に携わる人々の工夫を具体的に考える。」ことが目標となっている。ちくわ工場でも食品の生産に衛生面や味などの品質に注意を払っているととも、販路の拡大などに様々な工夫や努力が見られる。消費者を意識し、消費者に安全なものをある程度の価格で安心して買ってもらえるようにピーアールをしている。

本時の学習では、ビデオによる工場の観察で発見したことや分かったことを通して、生産者の立場になり（消費者を意識した立場）、生産者が特にどんなことに注意したり工夫したりして、製品を作っているのかを深く考えさせる。発見したことをもとにして、そのことをまとめながら生産者の意図を考え集約し、理解させるのである。そのために本時では、「ちくわ工場の人（ちくわを買う人に）工場が一番見てほしいものは何だろうか。」という問題提示をし、「ちくわ工場の人たちの願いは何だろうか。」という課題に対して答えを出していく、「課題」からのアプローチによる授業を構成することにした。

### ( 2 ) 子どもと教師

子どもたちはこれまで、スーパーマーケットの学習を通して、身近な地域の販売活動について学習してきた。各自で見学の際に調べたいこと・聞きたいことを書き出し、班ごとにそれらをまとめ、さらにクラス全体でいくつかの課題にしぼるという活動をしてきた。そして、見学をしたことをまとめていく中で、スーパーマーケットで働く人たちの工夫や努力を考え、消費者を意識した販売努力をしていることを理解していった。一方、家の人に品物を選ぶ際に気をつけることをインタビューしたり、牛乳パックのどこを見て牛乳を買うかなどを思い出したりして、消費者の願いも調べ、考えていった。

このように、販売に携わる人々の実際に関心を持ち、意欲的に調べようとしたり、働く人の様

子を具体的に観察しメモやカードに表現したりすることができるようになってきた。また、スーパーマーケットではたくさんの方が販売に関する特色ある仕事をしていることや、消費者を意識した販売方法を考えて、努力や工夫を続けていることを少しずつ理解してきた。

本時までには、ちくわ工場の仕事をさらに確かな視点や自分のこだわりをもって観察・調査させたい。そして、本時ではそのことをもとにして、よりよいものを作ろうとする工夫や努力を、工場の人や物に着目させることによってさらに具体的に考えさせていきたい。また、スーパーマーケットの学習を思い起こさせ、消費者を意識した販売活動が生産活動にもあてはまるということ子どもたちに発見させていきたい。

### (3) 子どもと教材

子どもたちには、「ちくわ工場の人、(ちくわを買う人に)工場が一番見てほしいものは何だろうか。」という問題提示をし、これまでとちがって生産者の立場になって課題に向かわせる。スーパーマーケットの学習の中で、販売する側が食品の安全や味などの品質に注意を払っていることを学習しているので、品物(食品)を生産する側も同様だということは考えるであろう。ただし本時では、具体的にそれらが工場内の何(どこ)に見られるのかを、自分なりに根拠を見つけて理由を説明させる。例えば、「働く人が白衣を着てマスクをつけ、目だけしか見えないぼうしをかぶっているのは、ちくわに髪の毛やごみなどがちくわに入らないようにして安心してもらうため。」というようにである。それらの具体的な例を、理由に注目させていくつかの側面に整理させる。そのような過程の中で「ちくわ工場の人たちの願い」が安全性や衛生面や味・品質の維持などであることに気づくであろう。また、子どもたちから出た考えを検証するために、ちくわ工場で働いている人の話を資料として紹介し、考えが妥当だったか、気がつかなかった部分がなかったかを振り返らせたい。また、工場の人たちの願いが消費者の願いを反映したものであることもスーパーマーケットの学習で家の人にインタビューした結果を示して、消費者のニーズについて意識させたい。

このように、いくつかの工場の様子を視点を絞ってまとめていくことによって工場で働く人たちの願いを見つけさせ、さらにそれを検証していくような「適切に判断する力」をつけていきたい。

## 3 単元の目標

- ・わたしたちの地域では、生産や販売に関する仕事をしている人々がいて、日々のわたしたちの生活を支えていることがわかる。
- ・身近な地域の生産活動や販売活動の実際について、観察・調査したり、表現したりすることを通して、仕事の特色や他地域との関わり、仕事に携わる人々の工夫を具体的に考える。

4 学習計画 (全10時間)

月	内容の区分 と資料	時	学習事項	内容目標 行動目標 学習問題・発問	観 点					
					技 能	知 理	思 判	表 現	関 意	
単元名 工場の仕事 ~ちくわ工場の仕事~										
11	工場の仕事  [資] 鳥取市地図 ちくわの包装紙  [資] 市社会科副読本 ちくわ工場のビデオ	10	わたしたちの地域では、人々が生産や販売に関する仕事をしていて、日々のわたしたちの生活を支えていることがわかる。							
			(2)	地域で作られている品物(とうふちくわ)と工場に興味・関心をもつ	鳥取市地図を見て、市の特産物や何を作っている工場があるか調べる。  [ ] 鳥取市ではどんなものが作られているのだろう。					
		(4)	ちくわ工場の様子	ちくわ工場について知りたいことをカードにまとめる。  [ ] ちくわ工場で知りたいことをカードにまとめよう。  ちくわ工場のビデオを見て、調べたことをカードにまとめる。 [ ] ちくわのひみつを見つけよう  [ ] ちくわ工場で見つけたことをカードにまとめよう。						
12	[資] 市社会科副読本          [資] 鳥取市地図 市社会科副読本	(2)	ちくわ作りの工夫や努力	ちくわ工場の人気がつけていること、願いを考える。(本時) [ ] ちくわ工場の人気が、工場が一番見てほしいものは何だろうか。 ちくわの原料がどこからきているのか調べる。 [ ] 原料はどこからくるのだろう。						
			(2)	身近にある工場と働く人々の実際	身近な工場を調べまとめる。  [ ] 身近な工場を調べ、働く人を紹介しよう。					

5 本時の学習について

(1) 本時の目標

工場の様子を観察してまとめたことや、働く人の話をもとにして、工場の人が何に気がついたり、何を工夫したりしているかを考え、おいしく安全なちくわ作りをしていることを理解する。

(2) 本時の課題

ちくわ工場の人たちの願いは何だろう。

(3) 期待される児童の様相

- ・出された意見を整理，分類して、ちくわ工場の人たちの願いを考える。
- ・ちくわ工場の人たちが安全・安心でおいしいちくわを作るために工夫，努力していることを理解する。
- ・学習したことをもとにして，これからのちくわの生産について，生産者の立場でピーアールする文を書く。

(4) 本時の展開 ( 教師の意図 全体への支援 個への支援 )

学 習 活 動	教師の支援・意図
<p>1 ちくわができるまでの工程や工場の様子を思い起こす。 (工程)すりみをねる 形を作る 焼く(蒸す) しんぼうをはずす 冷やす</p> <p>2 ちくわ工場の人たちが、工場でどんなことに工夫をしたり、気がついたりしているのかまとめる。</p>	<p>ちくわ工場のビデオを見てかいた記録カードをもとに、ちくわの製造工程を確認したり、それぞれの工程で気がついたこと・発見したことなどを発表させたりして、工場の仕事について関心を高める。</p> <p>生産者の立場になって、特に何に気がつけてちくわを作っているのか考えさせる。</p>
<p>ちくわ工場の人たちが、工場が一番見てほしいものは何だろうか</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・原料の袋...鳥取産の大豆で作っていて、安心して食べてもらえるから。</li> <li>・働く人の服装</li> <li>・手を洗ったり、体をきれいにしたりするための部屋</li> <li>・消毒の器械 ...工場を清潔にして安心して食べてもらえるから。</li> <li>・チェックカード ...機械をきちんと消毒をして、安全なものを食べてもらえるから。</li> </ul>	<p>ワークシートに発問の答えと、自分がなぜそう考えたかの理由を書かせる。その際、「ちくわを<u>買う人</u>に見てほしい」ということを付け加え、消費者を意識した答えになるようにする。</p> <p>書き出しにくい児童には、「わたしが一番見てほしいものは...です。なぜかという...だからです。」の「...」の部分を考えさせる。</p>

...ちくわがうまくできているか確認して、おいしいものを食べてもらえるから。

・形をつくる機械、焼く(蒸す)機械

...一度にたくさんのちくわを作ったたくさんの人に食べてもらえるから

・ねる機械

...機械だけにたよらず人間がねり具合を決めて味が落ちないようにしているから。

一つだけ選択させることによって、食品を作る生産者が特に意識していることをじっくりと考えさせたい。

### ちくわ工場の人たちの願いは何だろう

3 ちくわの生産者がどんな製品を作ろうとしているのか考え、話し合う。

- ・おいしいちくわ
- ・安全なちくわ
- ・安心して食べることができるちくわ

2で出た項目をいくつか仲間分けしてまとめることによって、ちくわの生産者が安全でおいしい製品を作ることに重点をおいていることに気づかせる。

資料から生産者の思いを読み取らせ、話し合っ  
て出た意見を裏付けたり修正・補足したりする。  
スーパーマーケットの学習で家の人  
がどんな品物を求めているのかを  
思い起こさせ、買う人(消費者)  
の要望も反映されていることにも  
気づかせる。

4 これからどんなちくわを作っていきたいか工場  
の人の立場でピーアールする。

ワークシートにちくわ工場の人たちがちくわを  
買う人に宣言するような形で書かせる。  
工場の人  
の立場になって、消費者のニーズに  
これからどのように応えていくのか  
考えさせたい。